

## 「御霊の実⑤ 親切」

### Ⅱ サムエル記 9:1～13

2016.01.10 Alex Tan

1

## 概観

親切＝神の恵み、HB: Hessed。Ⅱサムエル9章でこの言葉は三回現れている(V1, V3, V7)。ダビデとメフィボシエテの記述を通して、親切(kindness)について学べる。

### アウトライン

1. 恵みはどういう意味なのか？
2. 恵みはなぜ与えられるのか？
3. 恵みはどこにあるのか？
4. 適用

2

### 1. 恵みはどういう意味なのか？

- 1) 定義: 相手の立場や価値と関係なく、一方的に見返りを求めず、犠牲を被っても、約束に基づいて与えつづける愛。
- 2) 確実で、永遠に変わらない愛。契約に基づいた忠実な愛。神様の愛のご性質(Ⅰコリント13:4)。GK: Agapeと同じ意味。
- 3) 契約を守る神: アブラハムの契約、モーセの契約、ダビデの契約。旧約聖書を読むと、イスラエルに裏切られつづけても、愛を与えつづける神様の姿が見られる。

3

### 2. 恵みはなぜ与えられるのか？

- 1) ヨナタンとダビデ契約: Ⅰサムエル20:11-17。「あなたの恵みを私の家から断たないでください」(V15)。契約を守るために、ダビデはヨナタンの子孫を探した(V1-V3)。
- 2) ロ・デバル＝草のない、希望のない土地(V4)。ダビデは人をやって、メフィボシエテを連れてこさせた(V5)。
- 3) メフィボシエテ(Ⅱサムエル4:4)。足が不自由、恐れて隠れていた。「恐れることはない」(V7)。死んだ犬(V8)が王子となる(V11)。

4

### 3. 恵みはどこにあるのか？

- 1) ダビデはメフィボシエテに恵みを施せるのは、先に恵みを受けたから。神様はダビデをサウル王から守られた。ヨナタンに愛された。
- 2) 人間全員はメフィボシエテのようである。王様の恵みを受けるのに値しない存在である。ヨナタン、ダビデとメフィボシエテの話は恵みの源である神様を示唆している。
- 3) イエス様はより優れているヨナタン、より優れているダビデ。父なる神様の恵みを受けられるのは、イエス様のおかげである。

5

### 4. 適用

- ① メフィボシエテと同じであることを認める  
全員罪で不自由になり、不安を持って隠れて生活しているが、我々は元々王族出身。
- ② メフィボシエテのように恵みを受ける  
神様は常に私たちを探しておられ、顧みて下さるお方。犬⇒王子に変えて下さるお方。
- ③ いつか、ダビデのように恵みを分け与える  
受けた恵みを分け与え、拡大再生産、良い循環を促す必要がある。しかし、十分に愛された実感、恵みが溢れてきた時で遅くない。

6